

平成28年度 継続被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」報告

【事業実施に向けた打ち合わせおよび現地調査、ミニ公演】

- 1) 日程 平成28年5月19日（木）～24日（火）
- 2) 場所 福島市の病院内託児所および幼稚園の計2カ所にて人形劇公演を実施。
福島市、二本松市、郡山市、川俣町において事業支援団体および行政担当者との打ち合わせと会場下見。
- 3) 参加劇団 人形劇団野良犬（1名）、劇場スタッフ（1名）
- 4) 公演記録

月/日（曜）	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
5/21（土）	11:00	福島寿光会病院託児所 福島市北町1-40	人形劇 「みにくいあひるのPすけ」 「千匹オオカミ」 パネルシアター 「ママのおけしょう」	22名 (子8、 大人14)
5/23（月）	10:15	福島市立おおとり幼稚園 福島市飯坂町字桜下1-1 (福島福祉施設協会飯坂保育所 と合同観劇)	人形劇 「みにくいあひるのPすけ」 「千匹オオカミ」 パネルシアター 「ママのおけしょう」	56名 (子51、 大人5)

5) 写真で見る公演及び調査記録

①ミニ人形劇公演（福島寿光会病院託児所）



- 病院内のリハビリ室が会場。院内託児所の子どもたちと一緒に病院を利用している大人の方にも観ていただいた。人形劇に歓声をあげる子どもたちの反応に周りの大人たちも笑顔になった。
- 札幌の人形劇のお母さんたちが作ってくれたハンドパペットとねずみの指人形をプレゼント。みんなで仲良く遊んでくれることを約束した。
- 少人数を対象とした公演だったが、子どもとお年寄りが時間を共有できる温かな場となった。

②ミニ人形劇公演（福島市立おおとり幼稚園）



- 会場のおおとり幼稚園と、隣接した飯坂保育所との合同観劇。保育所の子どもたちははじめは少し緊張した表情だったが次第に緊張もとけ賑やかに人形劇を観てくれた。
- 最後は人形と握手をしてみんな笑顔でお別れをした。

③その他

これまでの活動の中でつながった縁により、今年度より新たな取り組みとして川俣高校の選択授業の中で人形劇指導を行うことになった。今回はその打ち合わせのため川俣高校を訪問。将来、子どもたちとたくさんの関わりを持っていくであろう学生たちに、人形劇を通じた子どもたちとのコミュニケーション、豊かな心を育む表現活動など人形劇の持つ魅力や楽しさを伝えていければと思う。

担当の先生からは震災当時のお話なども聞くことができた。生徒たちの気持ちを盛り上げ明るく情熱を持ち子どもたちと接する姿に感銘を受ける。震災後から続けてきたこの活動でたくさんの方と出会いお話を聞かせていただくことができたが、これまで震災のお話などは特に交わすことなく笑顔で明るく受け入れてくださってきた方々の中にも、被災され身内を亡くされた方や震災の影響で周辺が一変し傷ついている方がたくさんいたのではないかと思います。時間の経過だけでは解決することのできない複雑な問題や、立場の違いでおこる様々な感情のすれ違いなど、震災から5年以上が経過した今でも考えていかなければいけない問題は山積みであると感じた。

